



SOMPO

安心・安全・健康のテーマパーク

NEWS RELEASE

株式会社プライムアシスタンス

2023年4月3日

『認知症バリアフリー宣言』の策定

株式会社プライムアシスタンス（代表取締役社長執行役員：大倉 岳、以下「当社」）は、SOMPOグループが掲げる「認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会」の実現に向けた取組みの一環として、『認知症バリアフリー宣言』を策定しました。「社会の基盤づくりに参画している企業」を目指す当社は、認知症の方やそのご家族が安心・安全・健康に暮らせる認知症バリアフリー社会の実現を目指します。

1. 認知症バリアフリー宣言の概要

『認知症バリアフリー宣言』は、官・民約100にのぼる団体によって設立された「日本認知症官民協議会」によって開始され、認知症バリアフリーに取り組むことの発信・行動を通じて、社会に寄与し企業・団体などの価値を高める活動です。

2. 背景・目的

高齢化の進行により、認知症患者数は2025年には約700万人、65才以上高齢者の約5人に1人にまで増加すると予測されています。SOMPOグループでは「認知症サポートプログラム」により、「認知症に備える・なってもその人らしく生きられる社会の構築」を目指した取組みを推進しています。

当社は、WEBサイト「SOMPO笑顔倶楽部」を通して認知症に関する基礎知識や専門家コラム、認知機能チェックツール、認知機能低下を予防する取組みを紹介しています。また、社員を対象とした認知症サポーター養成講座を継続的に実施しており、多くの社員が認知症や高齢者に対する適切な接し方に関する理解を深めています。





3. 宣言内容

当社は、認知症の方やそのご家族が安心・安全・健康に暮らせる認知症バリアフリー社会の実現を目指します。そのために、次の事項に継続的に取り組めます。

(この宣言は、本社と全ての拠点を対象としています。)

項目	具体的取組
人材の育成	当社は、これまで取り組んできた社員の認知症サポーター養成講座の受講を引き続き積極的に推進し、認知症サポーターの養成を通じて、認知症バリアフリーを担う人材を育成いたします。
地域連携	当社は、認知機能低下の予防、認知症の基礎知識や介護に関する情報を提供する、認知症サポート「SOMPO笑顔倶楽部」(WEBサービス)の運営を行っています。SOMPOグループ内の各社と連携し、各地域における関係機関へ提案を行っています。
社内制度	当社は、介護休業、介護休暇、介護のための深夜業務の制限・時間外勤務の免除、介護短時間勤務制度、シフト勤務、テレワーク勤務、等の認知症を含めた家族介護を支援する社内制度について、社内ツールの充実や周知により認知度を向上し、各種制度をより活用しやすい環境を整備していきます。
環境整備	当社は、定期的な研修と「SOMPO笑顔倶楽部」の運営を通して、社員が認知症の方との接し方を正しく理解し、高齢者の方に配慮した環境づくりの推進を行っています。

4. 今後について

当社は、「SOMPO笑顔倶楽部」の運営を通して「認知症の早期発見・認知機能低下の予防」と、「本人と家族を支援する共生」の2つの面からサポートするとともに、社員を対象とした認知症サポーター養成講座を引き続き実施し、「あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」ことに貢献していきます。

当社では、本業として社会課題に向き合い、「最上級のサービス」で世の中のあらゆるお困りごとからお客さまをアシストすることにより、SDGs (持続可能な開発目標) 達成への貢献を目指しています。

主に貢献できるSDGsの目標

